

「消化器感染症に対する診断システムに関する研究」への
ご協力に同意された方へ

本研究で別表の通り変更がありましたので、お知らせいたします。本変更に同意されない場合は、下記の問い合わせ先までご連絡をいただきたく存じます。

(別表)

変更事項	変更前	変更後
研究代表者 所属職位	医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチンマテリアルPJ プロジェクトリーダー 國澤純	医薬基盤・健康・栄養研究所 ヘルス・メディカル微生物研究センター センター長 國澤純
医薬基盤・ 健康・栄養 研究所 研究分担者	ワクチンマテリアルPJ 客員研究員 長竹貴広 ワクチンマテリアルPJ 主任研究員 細見晃司 ワクチンマテリアルPJ 研究員 真田喬行 ワクチンマテリアルPJ 特任研究員 河合総一郎 ワクチンマテリアルPJ 特任研究員 近藤早希 ワクチンマテリアルPJ 技術補助員 古田真理 ワクチンマテリアルPJ 技助補助員 東島陽子 ワクチンマテリアルPJ 技術補助員 野出絵里 ワクチンマテリアルPJ 技術補助員 森田牧子 ワクチンマテリアルPJ 技術補助員 内山恵太 ワクチンマテリアルPJ 連携大学院 生 吉井健 ワクチンマテリアルPJ 連携大学院 生 劉子茉 ワクチンマテリアルPJ 連携大学院 生 石田渙 ワクチンマテリアルPJ 連携大学院 生 堀田将志 ワクチンマテリアルPJ 連携大学院 生 一二三晴也	ワクチンマテリアルPJ 客員研究員 細見晃司 ワクチンマテリアルPJ 客員研究員 真田喬行 ワクチンマテリアルPJ 技術補助員 古田真理 ワクチンマテリアルPJ 研究調整専 門員 東島陽子 ワクチンマテリアルPJ 技術補助員 森田牧子 ワクチンマテリアルPJ 技術補助員 田中樹子 ワクチンマテリアルPJ プロジェク ト研究員 吉井健 ワクチンマテリアルPJ 研究員 新堀智子 ワクチンマテリアルPJ 研究員 堀田将志 ワクチンマテリアルPJ 研究員 渡邊大輝 ワクチンマテリアルPJ 学振特別研 究員 池田祐香 ワクチンマテリアルPJ 特任研究員 河合真悟 ワクチンマテリアルPJ 事務補助員 中津亜紀 ワクチンマテリアルPJ 事務補助員 高野由希 ワクチンマテリアルPJ 連携大学院 生 吉岡拓哉

	ワクチンマテリアルPJ 連携大学院 生 吉岡拓哉 ワクチンマテリアルPJ 連携大学院 生 家光恵心 ワクチンマテリアルPJ 研修生 蘭 子晗	ワクチンマテリアルPJ 連携大学院 生 家光恵心 ワクチンマテリアルPJ 連携大学院 生 蘭子晗 ワクチンマテリアルPJ 連携大学院 生 王梦琦 ワクチンマテリアルPJ 連携大学院 生 平山雄紀
大阪健康安 全基盤研究 所 研究者職位	微生物部細菌課 研究員 高橋佑介	微生物部細菌課 主任研究員 高橋 佑介
阪大微生物 病研究会 研究者所属	BMSセンター バイオ技術課 課長 稻井優太 BMSセンター 臨床検査課 課長 鈴木孝一朗	BMSセンター 臨床検査課 課長 稻井優太 BMSセンター バイオ技術課 課長 鈴木孝一朗
研究期間	承認日より7年間 (2026年3月31日ま で)	承認日より11年間 (2030年3月31日 まで)

お問い合わせ先

医薬基盤・健康・栄養研究所ヘルス・メディカル微生物研究センター

センター長 國澤純

連絡先 : 567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8

メールアドレス : kunisawa@nibn.go.jp

電話番号 : 072-641-9871

2024 年 3 月 28 日

情報公開文書

大阪府・大阪市において食中毒の行政検査を受けられた皆さん

表題の「食中毒の行政検査」にご提供頂いた試料・情報を、研究計画「消化器感染症に対する診断システムに関する研究」に提供することを計画しております。その概要を記載いたしますので、ご質問・ご相談等がございます場合、下記のお問い合わせ先までご連絡ください。ご自身が提供された試料・情報を提供してほしくないと思われました場合にも、お問い合わせ先までお申し出ください。提供者ご本人あるいはその代理人からお申し出いただいた場合は、試料・情報を提供いたしません。

1. 研究課題名

消化器感染症に対する診断システムに関する研究

2. 研究責任者

國澤 純：医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチンマテリアルプロジェクト・プロジェクトリーダー

3. 本研究課題の目的

本研究は、消化器感染症に対する新規の診断技術を開発することを目的に行います。現在の消化器感染症の診断方法は、症状による鑑別診断、培養法や遺伝子診断による原因菌の同定が主流ですが、症状はほとんどが下痢と似ているため鑑別が難しく、培養法では診断結果が得られるまでに時間がかかり、遺伝子診断は高額な装置が必要であるなど多くの課題があるのが現状です。医療や食品などの現場では、フィールドで迅速かつ簡便に診断できることが求められています。

本研究では、皆様がこれまでに提供された試料と情報を用いて、我々が開発研究を進めている迅速診断技術の有用性を検証したいと考えております。本研究の成果が実用化されることで、消化器感染症の早期診断を通じて、最適な医療の提供や適切な対策が早期に講じられることで国民の皆様の健康や公共の福祉に貢献できると期待しております。

4. 対象となる方の試料の収集期間および研究期間

研究期間内に「感染症発生動向調査事業」もしくは「食中毒・集団胃腸炎の行政検査」にご提供いただいた試料・情報を研究対象とします。地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所では、食中毒および集団胃腸炎の発生時に、保健所からの依頼に基づき、病原微生物および原因物質の検査を行っています。提供された検体の検査結果については各保健所を通してお返ししています。この事業・検査で提供していただいた検体（糞便）のうち、検査の余剰分を医薬基盤・健康・栄養研究所へ提供してもらいます。

研究期間は、2020 年 2 月から 2026 年 3 月までの 7 年間です。

5. 研究の方法

- ① 本研究で利用する試料の項目：糞便
- ② 本研究で利用する情報の項目：発症日、検査結果、検体採取日
- ③ 研究の体制：医薬基盤・健康・栄養研究所、大阪健康安全基盤研究所、**阪大微生物病研究会**の共同研究です。
- ④ 研究方法の概要：医薬基盤・健康・栄養研究所および**阪大微生物病研究会**により、糞便試料から、開発中の診断方法を用いて、食中毒の原因菌を検査します。この検査結果を、大阪健康安全基盤研究所における従来法による検査結果と比較することで、開発中の診断方法の有用性を評価します。対象とする食中毒は、カンピロバクター菌、ウエルシュ菌、腸管出血性大腸菌、サルモネラ菌、コレラ菌、細菌性赤痢菌、黄色ブドウ球菌による食中毒です。

6. 試料の提供について

試料は宅急便もしくは研究者の持参によって、大阪健康安全基盤研究所から医薬基盤・健康・栄養研究所に送付されます。情報はパスワードで保護したパソコンや電子媒体などを介して、大阪健康安全基盤研究所から医薬基盤・健康・栄養研究所に送付されます。

7. 個人情報の取り扱い

大阪健康安全基盤研究所からは匿名化された情報・試料が提供されるため、医薬基盤・健康・栄養研究所および**阪大微生物病研究会**では個人情報を取り扱いません。また、研究成果を学会や論文等で公表する際には個人が特定できないようにします。

8. お問い合わせ先

提供される情報・試料について

大阪健康安全基盤研究所 森ノ宮センター

担当者氏名

〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道1丁目3-69

電話 06-6972-1321

研究内容やその他について

国立研究開発法人医薬基盤・健康栄養研究所ワクチンマテリアルプロジェクト

國澤 純 プロジェクトリーダー

〒567-0085 大阪府茨木市彩都あさぎ 7-6-8

電話 072-641-9871